

みんなの健康を支え合う 国民健康保険

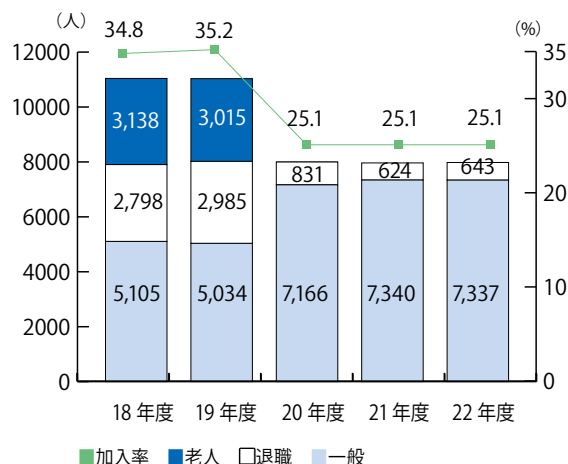
国民健康保険（以下、国保）は、皆さんが病気やけがをした時、安心して医療を受けられるように、加入者の皆さんが国保税を納め、医療にかかる費用を皆で支えあう制度です。

過去3年間の被保険者数は、ほぼ同数

グラフ1は過去5年間の国保加入者数と加入率を表しています。平成20年度からは老人保険者が後期高齢者医療制度に移行したため、国保の加入者は大幅に減少しています。また、65歳以上の退職被保険者が一般被保険者に移行したため、一般被保険者が増加し、退職被保険者が減少しています。その後22年度までの3年間の被保険者数は、ほぼ横ばいの状況です。

退職被保険者…会社などを退職し、現在国保に加入して、厚生年金などを受けられる65歳未満の被保険者とその被扶養者

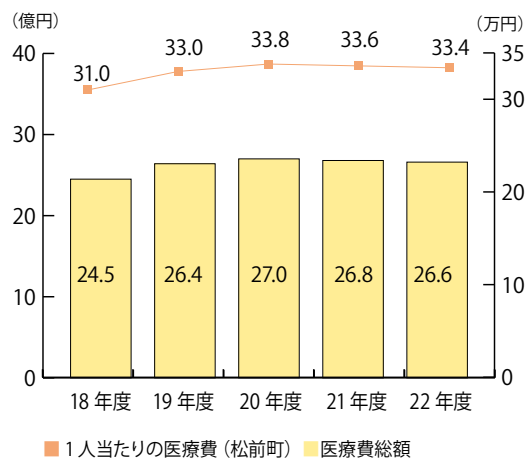
●グラフ1 保険者数の推移



一人当たりの医療費は、わずかに減少傾向

グラフ2は過去5年間の医療費と被保険者一人当たりの医療費を表しています。国保加入者の高齢化や医療技術の高度化などにより年々増加していましたが、20年度をピークに僅かですが減少傾向にあります。それでも、まだ高い水準にあります。安定的な国保の運営のため、一人一人が日頃からの健康づくりと医療費を節約する上手な受診を心掛けましょう。

●グラフ2 医療費の推移



●22年度の医療費

区分	件数	医療費	保険者負担額	1人当たり医療費	
				松前町	前年比
一般	112,193件	24億2,672万円	17億7,516万円	33万752円	-1.5%
退職	10,650件	2億3,476万円	1億6,421万円	36万5,109円	-6.4%
合計	122,843件	26億6,149万円	19億3,938万円	33万3,520円	-0.9%

ご存知ですか？ ジェネリック医薬品

ジェネリック医薬品は、先に販売されている医薬品の特許期間が切れた後に製造される、同じ有効成分、効能・効果を持つ医薬品です。

〔特徴〕 ①開発経費が少ない分、新薬より約3～7割安価

②病院などで出してもらった薬をジェネリック医薬品に切り替えると、患者の自己負担額が安くなることと、国保の医療費の削減が期待できる

③すべての薬にジェネリック医薬品があるわけではありません。薬代が下がっても、自己負担額が新薬の場合と変わらない場合があります。ジェネリック医薬品への切り替えは、医師や薬剤師にご相談ください。

国保・後期加入者には、保険証郵送時にジェネリック医薬品希望カードを同封しました。希望カードは保険課医療保険係にもあります。

医療費を節約するための心掛け

- ① 医師のかけ持ち受診はやめましょう。
- ② 時間外や休日受診はなるべく避けましょう。
- ③ 薬を必要以上に要求するのはやめましょう。
- ④ ジェネリック医薬品への切り替えを検討しましょう。
- ⑤ 定期的に健康診断を受け、病気の早期発見・治療を心掛けましょう。
- ⑥ 食事の栄養バランスと摂取量に注意し、適度な運動を習慣づけましょう。

問い合わせ 保険課医療保険係 ☎ 985-4107